



2025年 8月号

発行者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

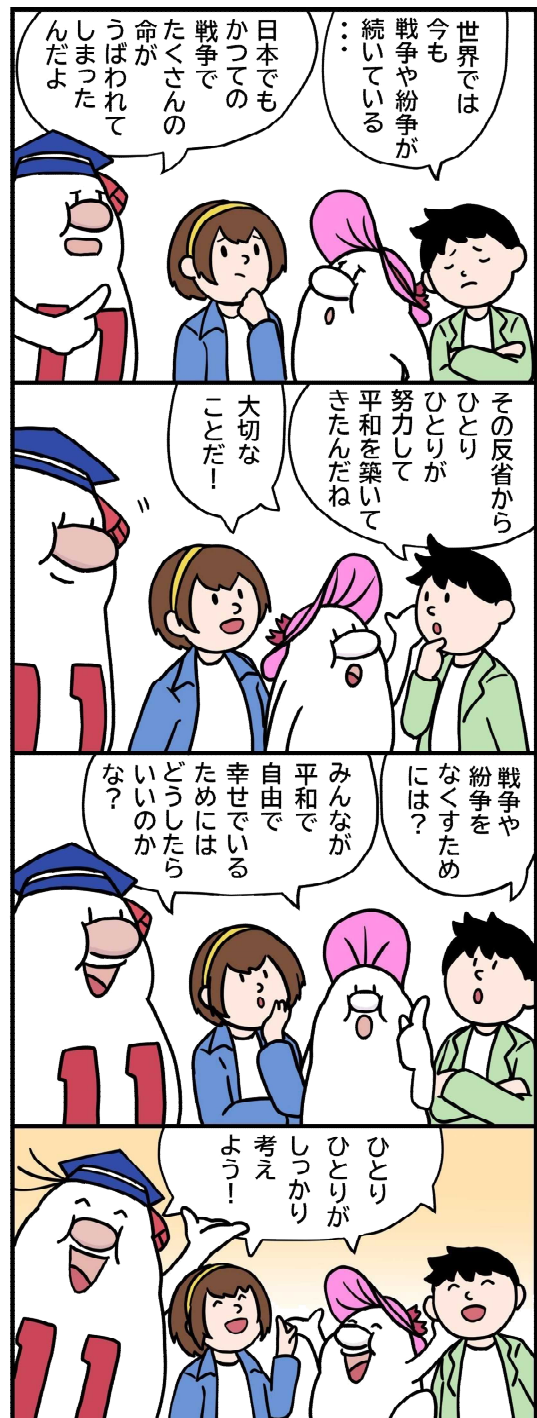
事務局 人権センター

* 平和・反戦・反核について *

今年、1945(昭和20)年に第二次世界大戦が終結して80年を迎えます。戦争を経験された方々が高齢となり、戦争の語り部が少なくなるなかで、戦争の悲惨さをいかに語り継いでいくのかということが大きな課題になってきています。

世界に目を向けますと、ロシアとウクライナの戦闘は終息の兆しを見せず、イスラエルとパレスチナ、インドとパキスタン、更にはイスラエルとイランまでもがお互いを攻撃しているという事態に至っており、新たに衝突が発生し続けていることが残念でなりません。

領土や宗教など、過去からお互いに譲れないものがあり、争いに至ってしまっているのだと思いますが、いつも犠牲になるのは立場の弱い方々です。その方々の苦労や心痛を思うと、胸が張り裂ける思いです。いずれの争いについても一刻も早く終結すること、核兵器が使用されることがない、もっと人権が尊重される平和な日が実現することを願わずにはられません。



＊ マイクロアグレッション ＊

てんいち先生



外国人に対して「お箸使うの上手」や「日本語が上手」といったり、ふくよかな体形の方に「自己管理ができていないじゃないの?」と思ったりする、文化上の違いや見た目に関して偏見や固定観念を持っていますか。こうした無意識な偏見や固定観念から出る何気ないひと言で、意図せず会話の相手を傷つけてしまうことを、「マイクロアグレッション」といい、日本語では「小さな攻撃性」といいます。

「マイクロアグレッション」は発話者に悪気がないというのが大きな特徴です。例えば、服薬でどうしても体重が増加してしまった人に対して、「自己管理できてないんじゃない?」と言ってしまうと、相手は相当ショックだと思います。ルッキズム(外見上の特徴だけでその方を評価したり差別したりすること)にも通じてしまいます。

かといって、特定の言葉を差別的・偏見的であるとして排除しようとするものではありません。思わぬひと言で相手を不快に思わせていることがあることを心にとめ、お互いにお互いをおもんばか
慮った会話ができるといいですね。